



NPO 法人

# ひろしま人と樹の会

会報 No. 278

□理事長 荒川 純太郎

□事務局 〒733 - 0852 広島市西区鈴が峰町 16 - 20 (中元明弘)

Tel&amp;fax 082 - 277 - 9490 E-mail: hiroshimahitotokinokai@yahoo.co.jp

□年会費 2,000 円 郵便振替 01360-4-29388 「ひろしま人と樹の会」

□編集責任者 古川ちひろ

## 本号の内容

### <セミナーのご案内>

#### 1. 番外編現場セミナー

「第 22 回みどりの集い」開催案内  
(4/29 : 日祝)

広島市東区福田町 広島県緑化センター

### <セミナー等の報告>

#### 1. 番外編 現場セミナー

第 24 回桜守りプロジェクト事前準備編  
(3/6 : 火)

安芸高田市八千代町土師ダム周辺

#### 2. 番外編 現場セミナー

第 24 回桜守りプロジェクト  
(3/11 : 日)

安芸高田市八千代町土師ダム周辺

#### 3. 番外編現場セミナー 竹林整備完了

(3/17・18 : 土・日)

東広島市西条町福本

#### 4. 現場セミナー 「里山整備講習会」

ー里山林における間伐作業と薪生産の実習ー  
(3/24 : 土)

広島市安佐北区白木町井原

### <事務局からのお知らせ>

## ◆セミナーのご案内◆

### 1. 番外編現場セミナー

「第 22 回みどりの集い」開催案内

(4 / 29 : 日祝)

広島市東区福田町 広島県緑化センター

4 月 29 日(昭和の日)に「みどりの集い」が  
広島県緑化センターで開催されます。

みどりの恵みに触れ家族で楽しめる多彩なイ  
ベントが盛り沢山です。

体験ブースでは、丸太切り、親子木工教室、  
紙すきハガキ教室、カブトムシ幼虫探し、木登  
り体験などです。販売ブースでは、木工製品、  
里山のお土産、山仕事の道具や山野草、地元野  
菜などが販売されます。大道芸や苗木の無料配  
布があります。

ご家族、友人、お誘い合わせてご参加くださ  
い。

なお、当会では、里山のお土産(森の宝物)  
(タラの芽、コシアブラ芽などの山菜や原木付  
きシイタケ等)を展示即売会しますのでお手伝  
いください。

1 日時

4 月 29 日(土・祝) 10～15 時(雨天決行)

2 場所

広島市東区福田町 10166-2

広島県緑化センター (多目的広場)

3 参加費

無料(但し参加料の必要なものもあります。)

4 主催

県民緑化の集い実行委員会(9 団体)

## ◆セミナー等の報告◆

### 1. 番外編 現場セミナー 第24回桜守りプロジェクト事前準備編 (3/6:火)

#### 安芸高田市八千代町土師ダム周辺

平成 19 年から実施されている、土師ダム桜守活動も 3 月 11 日で 24 回目を迎えます。そのための事前準備として、事前に天狗巣病に侵された桜や、弱って回復不可能な桜、桜の被圧になる支障木を伐倒する作業を 3 月 6 日の火曜日に実施した。

当日は、小春日和の中、今回会の活動に初めて参加された 1 名を含めて 10 名が、はじまる館に集合した。



初めに桜守プロジェクト顧問の正本大さんから説明を受けて作業に取り掛かった。正本さんの話によると、今年は数日前の大雨と雪解け水

により土師ダムの水位が例年になく高いので十分に注意して作業をしてほしいとの注意事項があった。



作業はあらかじめ正本さんが赤テープを巻いている木の伐倒である。樹種は天狗巣病に侵されたり、込み合っている杉や桜の景觀に支障となる広葉樹、枯損木などである。2 人一組に分かれて、安全に気を付けながら伐倒した。

一番大きな木は、胸高直径 50 cm、高さは先端が飛んでいたのが 15m 位のスギの木であった。この木には、井本さんと高橋さんが取り掛かることになった。井本さん得意のロープワークを

駆使して安全に伐倒した。その他の人も危険な木にはロープを掛けて安全を確認しながら伐倒した。

昼食は、いつも利用しているサイクリングターミナルの食堂が休業であり、国道 54 号線の勝田交差点近くの喫茶店などを使用した。

午後は、引き続き、桜の支障木となる広葉

樹、スギ、ヒサカキなどを伐倒した。これらの木には蔓が巻き付いているものもあり、思うように倒れず慎重な対応が求められた。

午後 3 時に予定の木を伐倒し、本番の準備を全員ケガもなく終えることができた。皆様お疲れさまでした。

(報告者 中元明弘)

## 2. 番外編 現場セミナー 第 24 回桜守りプロジェクト (3/11: 日)

### 安芸高田市八千代町土師ダム周辺

3 月 11 日 (日) 第 24 回桜守りプロジェクトに参加した。当日の参加者は 100 名くらいで、当会からは 18 名が参加した。

9 時に土師ダム湖畔の「はじまる館」の駐車場に集合し、受付を済ませると班分けが行われた。今回は雪解け水により高水位で至る所にゴミが流れ着いており、午前中にゴミ収集を行い午後から施肥をする「清掃・施肥班」が編成された。そのほかは従来通り、処理班、草刈り班、運搬班、チェーンソー班、集積班、植菌班である。当会の畝本さんは植菌班の班長に、櫻井さんはチェーンソー班の班長に指名された。

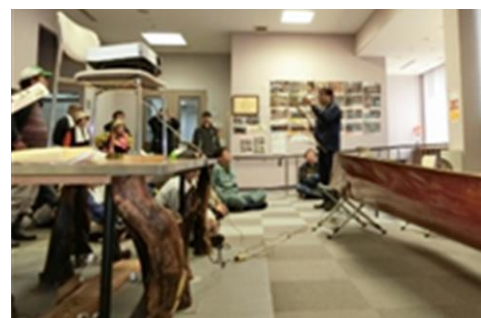
開会式では、20 回参加者された 2 名の方が表彰された。おめでとうございます。長年のボランティアご苦労様です。桜もさぞ喜んでいることでしょう。

山本優会長の挨拶、技術顧問の正本大さんの作業上の注意があった後、それぞれの班に分かれて作業を開始した。チェーンソー班は地元の方と当会員の 15 名で行った。作業は事前準備 (3 月 6 日) にあらかじめ伐倒していた木を運びやすい大きさに処理した。伐倒している桜

(天狗巣病) には花芽が付いており、花目を傷つけないように丁寧に枝を処理した。植菌班がナメコ菌を打つ原木になる桜の木を 1 m 程度に玉切りを行い、優先して運搬班に運んでもらった。その後、桜以外の木も玉切り、枝払いを行った。班員数が多かったので作業は順調に進み昼までにすべて終了した。

昼食はいつも通り、地元の皆さんの心のこもった、おにぎり、トン汁、ヤマメの塩焼きをおいしくいただいた。いつもありがとうございます。

昼時間を利用した恒例の桜の勉強会は、顧問の正本大さんがパワーポイントを使い、全国の有名な桜の紹介や桜の種類、特徴などをわかり易く説明された。桜の手入れをするに当たり大変参考になるお話であった。





チェーンソー班は、予定の作業が昼までに終わっていたので、午後からは、伐倒研修を兼ねて、チェーンソー班の 14 名が見つめる中、住田さんが模範演技、天狗巣病の桜の木、直径 30 cm 位を伐倒した。



【伐倒研修の様子】

伐倒は、一番安全なロープを使う方法を取り入れた。

まず伐倒目標点を設定し、ロープを掛けた。伐倒木の重心が湖の方向にあり、湖に倒すと後の作業が困難なため、重心方向とは逆に伐倒する必要があった。このため若干ロープを強めに張り、倒す方向に受け口を作り、追い切り、所定のツルを残しクサビで重心移動を試みたが倒れない。ツルを少し薄くしてから、数人でロープを引っ張り重心移動、桜の木を見事に目標点に伐倒した。



【ロープの掛け方を学ぶ】

伐倒後には、伐根を観察、水平な切り口、左右均一なツルの出来具合など安全な伐採技術の研修として大変参考になった。

伐倒した木は、枝払い、玉切りを行い、運搬班のトラックに積み込み閉会式会場に運んだ。15 時にはけが人もなく無事終わることができた。

閉会式の後、ナメコの植菌木や花芽がついた桜の枝を希望者に配って散会となった。

(報告者：中元明弘)



【植菌木として処理】



【第 24 回桜守りプロジェクト集合写真】

### 3. 番外編現場セミナー 竹林整備完了 (3/17・18:土 日) 東広島市西条町福本

平成 28 年に所有者から依頼をいただき、東広島市森づくり事業の助成をうけて 2 年間実施した竹林整備を完了させた。

全体の竹林面積 2,000 m<sup>2</sup>の内、残っていた約 200 m<sup>2</sup>の竹林をチェーンソーや手ノコで伐採、直径 6 cm 以上の竹は約 80 本を竹竿し、残りは棚積み、また直径約 6 cm 以下の幹や枝などはチップパーシュレッダー機で粉碎チップ化して終えた。

今回 2 日間の活動は次の通り。

3月17日(土) 晴れ 7名

伐採を優先し、太い竹は竹竿に加工した。細い竹や枝などは自動式チップパー機でチップパー粉碎した。地元荒垣さんからコーヒー、お菓子の差し入れをいただいた。

3月18日(日) 晴れ 9名

伐採、径の大きい根本は竹材として 3m に切り仮置き、他はチップパー粉碎した。土地所有者の山本さんから多額の寄付金をいただいた。また荒垣さんからはコーヒーの差し入れをいただいた。

●東広島市森づくり事業を活用した活動(総事業費 854 千円)の概要

#### 1 2 年間の活動実績の概要

(詳細は別紙のとおり)

- ①藪状の竹林面積 2,000 m<sup>2</sup>(約 3 万本)の竹林を伐採し、消滅させた。
- ②活動日数は 21 日。
- ③参加者数は公募(地元)などにより 149 名
- ④チップパー機借上げ台数は 11 台を借り上げ竹チ

ップ化した。

- ⑤竹竿、竹串、イベント材料、竹チップ堆肥などを生産した。

#### 2 活動の成果

- ①藪状の竹林を消滅させて明るい原野として整備できた。
- ②伐採した竹資源は、竹竿、竹串、チップ化し堆肥、イベント用竹材などとして有効活用するシステムを構築できた。
- ③参加者募集により多様な方々の参加(地元)による協働作業がお互いの絆を深め、地域活性化に大きな効果を果たした。
- ④県道に近く横断幕やのぼりを立てての活動は、多くの方の目を引き活動の要請がたびたび来るなど竹林繁茂防止の活動モデルとすることができた。

#### 3 参加者等の声

- ①落ち葉が屋根や側溝にたまり除去が大変であったが苦勞がなくなった。
- ②昼間でも部屋が暗かったが太陽が差し込む明るい環境になった。
- ③通学路が冬場は凍結するので迂回していたが年間を通して通れるようになった。
- ④竹が再生しないようこまめな手入れを行い良い環境を維持させる必要性を強く感じた。
- ⑤竹チップ堆肥を畑に入れた野菜ができるのが楽しみだ。

#### ●お礼

2 年間多額の寄付や差し入れをいただいた山本さん、地元として毎回差し入れをいただきました荒垣さん、小屋などお貸しいいただいた中田



さん、誠にありがとうございました。元気の源  
となりましたこと感謝いたします。

参加くださいました延べ 149 名の皆さんのご

尽力に対し、改めて感謝とお礼を申し上げます。

皆さん大変お疲れ様でした。



【事業前の竹林】



【竹林を完全に消滅させた。】



【3/17 集合写真】



【3/18 竹林を消滅させた後の集合写真】



【3/17 伐採の様子】



【3/18 最後の竹伐採の様子】



【チップ機でチップ化】



【ばんざーい 2年間お疲れさまでした。】

## 東広島市里山保全活用支援事業活動実績 (実施期間：28年から29年)

活動年度	平成28年度							平成29年度				計	備考
実施回数	1回目	2回目	3回目	4回目				1回目	2回目	3回目	4回目		
実施期間	・ 7/18	8月21日	10月29日	11/26～ 27	1月18日	2/18・19	3月21日	7/7～ 7/10	9/8～ 9/11	10月8日	3/17～ 3/18		
活動日数	1日	1日	1日	2日	1日	2日	1日	4日	5日	1日	2日	21	
作業内容	竹伐採、集積、チップ化							竹伐採、集積、チップ化					
伐採面積(ha)		0.02	0.01	0.03	0.01	0.02	0.01	0.03	0.03	0.01	0.03	0.2	
チップパー機		2台		2台		2台	1台	2台	1台		1台	11台	
参加者数	会員	6	10	4	14	7	14	6	25	22	2	14	124
	公募参加者	0	6	0	5	0	2	0	6	4	0	2	25
	計	6	16	4	19	7	16	6	31	26	2	16	149

※ 1伐採した竹は、次の通り有効活用した。

2竹竿、植栽木の竹串、素麺流し用の竹筒、地元の「とんど」、チップ化し堆肥用として利用した。

#### 4. 現場セミナー 「里山整備講習会」 ー里山林における間伐作業と薪生産の実習ー (3/24：土) 広島市安佐北区白木町井原

ボランティア活動や自伐林業において、間伐をはじめ伐採（伐木）の安全作業が求められています。

広島市では、これら作業の安全確保のため座学・実習の講習会を行いました。

講習会の講師・指導・手伝いの要請があり、本会の6名（井本、中元、沖田、吉田、神川、畝本）が参画しました。

講習会場所の井原地区の「見張会館」に8時半に到着すると、既に株式会社エブリプランと広島市職員の担当者が座学・チェーンソーの目立て台など準備されていました。受講生は11名で井原地区の自伐林業家や森林ボランティアの方達です。

9時過ぎから始まった室内座学では、井本、中元の両名が「動力機械（チェーンソー）」での作業の基本ルールについて「安全マニュアル」を使い、きめ細かく説明。例としてチェーンソーを持ち込み、キックバックはどうして発

生するのか、どうしたら発生を防げるのかなど具体的に説明。その他チェーンソーの操作だけでなく、防振手袋や切断防護ズボン（チャプス）、切断防止靴などの保護具の着用の必要性も説明、受講生はマイチェーンソーを持ち、チェーンソー作業の経験はありますが、改めて「基礎の基礎」を学んでもらいました。



座学は1時間で終わり、引き続き屋外でチェーンソーの目立ての実演講習を行いました。目立ての重要性やカッター（刃）の構造や機能、具体的な目立てのやり方など学び、受講生各自はマイチェーンソーを使い、実習しました。今まで自己流で目立てをしていた受講生は「ほんま、勉強になった」と口々に言っていました。





午後からは伐倒と薪割り機で薪割り実演。

講習会会場から少し離れた山林に行き、井本さんが伐倒の実演を行った。

樹種はウワミズザクラ（径約 40 cm・高さ約 10m）で根元から 1 m 位の高さの幹が曲がっているので、目標伐倒方向に倒すためと掛かり木の防止のためにロープ架けを行う。ロープワークや正確な受け口づくり等による安全な伐倒方法

を説明しながら伐倒を行った。伐倒後玉切り実演を終えた。



麓の広場で、薪割機による薪割であるが、\*「木元竹末」から割れば割れやすい、薪割り機の動きが見た目は遅いが、動圧は力があるため手を挟まれないよう細心の注意が必要などの説明を行い、受講生が薪割を行った。午後 4 時に一日の座学・実習を事故も無く、無事終了しました。

（報告者：畝本暢宏）

\*木元竹末（きもとたけうら） 薪、竹の割り方の基本、「元」は根元、「末」は先端をいいます。つまり、薪は根元から割り、竹は先端から割るのが基本という格言です。

#### <事務局からのお知らせ>

- 次の方から会費の納入がありました。（敬称略）

##### 【個人会員】

新規加入者 住田幸雄 2,000 円（H30 年度分）

既個人会員（H29 年度分：各 2,000 円）：田辺紘毅、唯山重夫、渡辺美智子、岩見和子、  
小田浩水、野村 惺、

（H30 年度分：各 2,000 円）：黒田長生、太田義治、梅田斉、福川恵美子、  
宮本聖矢

【既団体会員】 5,000 円：三井ボランティアネットワーク事業団中国支部

- 寄付金をいただきました。（敬称略）

100,000 円（榊山本薬品 山本和彦）、 2,000 円（三上早苗）